

平成30年度教育事業
「親子あそべ!げんキッズ」



スケジュール

- ・開会式
- ・親子体操
- ・運動遊び
キャタピラー、箱積み、空き缶積み、的当て、
がんばれバスなど
- ・閉会式

1. ねらい

親子を対象にした出前事業を行い、園や家庭などで継続的に運動遊びを楽しむ態度を身につけさせることを目的とする。

2. 実施日・対象・参加者

- ・平成30年11月13日(火)
宇陀市立榛原幼稚園 139人
- ・平成30年11月17日(土)
葛城市立新庄北幼稚園 132人
- ・平成30年12月5日(水)
宇陀市立榛原東幼稚園 123人
- ・平成31年1月12日(土)
天理市立柳本幼稚園 84人
- ・平成31年1月17日(木)
津市立千里ヶ丘保育園 67人
- ・平成31年1月21日(月)
奈良市立都南保育園 63人
- ・平成31年2月19日(火)
田原本町立東幼稚園 35人

3. プログラム(要約)

段ボールや新聞紙など、園児にとって身近な物を材料にし、幼児期に必要なとされている動きを取り入れながら、園や家庭でも簡単に出来る運動遊びを取り入れた。

※国立青少年教育振興機構「遊んで身に付く36の基本的な動き VOL.1」参照



初めに、準備運動を兼ねて親子体操を行った。その後、様々な運動遊びを楽しんだ。

「キャタピラー」コーナーでは、大中小様々な大きさのキャタピラーを操作し、親子や友だち同士で協力して進んでいた。前向きに這うだけでなく、横向きに転がったり後ろ向きに進んだり自分たちで工夫し、遊びが発展した。

「的当て」コーナーでは、的を狙ってボールを投げたり蹴ったりしていた。的までの距離を変えながら楽しんでいた。

「段ボール箱積み」コーナーでは、親子で協力しながら、できるだけ高く積み上げていた。

「がんばれバス」コーナーでは、段ボール箱の中に入り、前につけた紐を一生懸命引っ張っていた。

最後に、全体で「プラフープくぐりリレー」を行った。

4. まとめ

親子で一緒に運動遊びを楽しみ、家庭でも運動遊びを楽しめるきっかけとなるような場を作ることができた。また、「運ぶ」「はう」「投げる」など、幼児期に必要なとされている基本的な動きを取り入れ、遊びながら身に付くように工夫した。

これからも、運動遊びが好きになれるような場を提供したい。
(企画指導専門職 上田 考浩)